

## 県民協働型自然共生推進手づくり事業

### 「北長門海岸国定公園内角島地域の自然環境保全事業」

#### ☆日時

平成19年9月8日（土） 9：00～14：00

平成19年9月9日（日） 8：30～11：30

#### ☆場所

下関市豊北町角島

(1) 大浜海岸 (2) 夢崎 (3) 牧崎風の公園全域

#### ☆参加人数

152人（8日74名・9日78名）

#### ☆共催

豊北町自然観察指導員会

## 1 スケジュール

### 9月8日（土）

9：00～ 9：30 受付

9：30～11：30 大浜海岸クリーン大作戦

12：15～14：00 大浜海岸クリーン大作戦

### 9月9日（日）

8：30～ 9：00 受付

9：00～11：30 島内自然観察会（元山コース45名・尾山コース33名）  
表示板（看板）設置

## 2 活動内容

### ■ 9月8日（土）

#### (1) 大浜海岸クリーン大作戦

大浜海岸の砂丘や岩場にある漂着物や捨てられたゴミを3つに分けて回収。

- ① 缶・ビン（リサイクル）、②ペットボトル（リサイクル）、③その他（埋め立てをするもの）

ゴミの中身は、ビニール、花火、タバコの吸殻、ビニールシート、漁業用の縄、缶、ペットボトルが多く、中には、バーベキューコンロセットやデッキチェアなど、総重量 580Kg のゴミを回収した。

※木、海藻等自然に帰るものに関しては回収しない。

効果： 参加者が協力して清掃活動をしながら、美しい風景を守るために、私たちがどのような態度で自然の中で暮らすのか。自分たちの行動や生活を見直す、またどのように現実を改善できるのか考えるきっかけを作ります。



砂浜にも、岩場にもゴミが多く管理された地域でさえも、この状態



トラック3台分のゴミが集められました

■ 9月9日（日）

島内自然観察会

- (2) 尾山コース（つのしま自然館～尾山港～尾山～田ノ尻～角島灯台～夢崎～つのしま自然館）
- (3) 元山コース（つのしま自然館～戦争遺跡～棚田～牧崎～つのしま自然館）

効果： 参加者が島の生き立ち、歴史を知り、豊かな自然を観察することで、北長門海岸国定公園第一種特別地域指定の根拠を知ります。また、夢崎、牧崎に表示板を設置することにより、優れた景観構成物（自然物・動植物）を大切にしていける啓発活動を体感できます。

さらに、設置された表示板を見ることで、角島を訪れた人々が貴重な植物群を守り後世に残すような行動がとれるように意識啓発を行います。

### 【尾山コース】

つのしま自然館から尾山港への道程は、生活道路を歩きました。その小道沿いにも、シダや草花が多く民家の中の道というより山道のようにです。尾山港に抜けた後、田ノ尻に出ました。

田ノ尻からは、遠く九州を見ることができました。ここから角島灯台に抜けるためには、車が1台やっと通れる山道を歩きます。そこには、ノシラン、ヤブラン、センニンソウ、葛が観察でき、キクラゲがついている木もありました。特に、葛の花が満開で多くの美しい紫の花を見ることができました。木々は枝葉を張り、上に伸びるといよりどっしりと構え、風に負けない力強さがあります。

また、尾山礫層が道沿いに露出しており、その堆積から角島の昔の海水面を推察できました。



尾山コースでよく見かけたクズの花



尾山に向かって、うっそうとした山道を行く。眼下に海を望む場所に慰霊碑が建立されています。

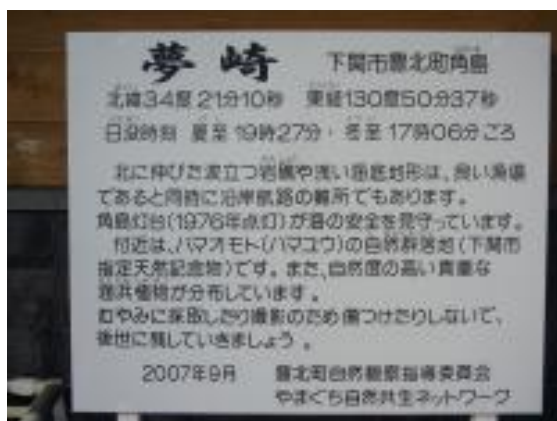
最終目的地、ハマオモト（ハマユウ）の自然群落地である夢崎に、貴重な海浜植物を盗掘や損傷から守るため、意識啓発をする看板を設置します。



田ノ尻を過ぎ、角島灯台を望む



看板の奥に見えるのが、ハマオモト（現在は、葉が茂った状態）



看板表示内容



### 【元山コース】

元山地区には、旧陸軍の遺構として、旧陸軍が築いた砲台跡、そして、その向かい側には弾薬庫の跡があり、自然豊かな角島も戦争とは無縁ではないことを物語っています。

また、牧崎の途中では、左側に棚田を見ることができます。



棚田は手入れされておらず、荒れていました

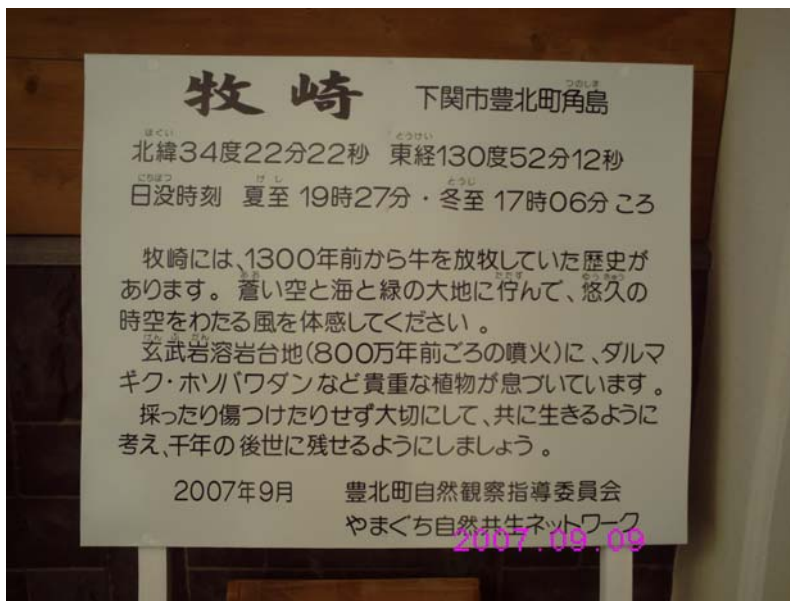
牧崎は玄武岩の岬で、四季を通して風が強く、地面を這うように草木が育っています。草原を丈の低いゴキダケが覆っています。また、カワラナデシコが咲いており、秋にはダルマガキ等が彩りをそえます。牧崎は、季節に応じた野生植物が多くあり、自然とのふれあいができる貴重な場所。最近では、この貴重な植物の損傷の被害が多いため、植物を被害から守る意識啓発看板を設置しました。



(カワラナデシコ)



(ダルマガキ 10月頃開花)



(看板表示内容)



(牧崎に看板を設置)



※ 牧崎にもたくさんの漂着ごみが集まっているが、清掃するのも難しくそのままになっています。

### (感想)

清掃活動に参加していた人は、ゴミの種類に様に驚いているようでした。

漂着物が最多であろうとの予測でしたが、結果はこの海岸に来た人たちがそのまま放置していったであろうと推察されるものが大半でした。例えば、ペットボトルや花火のカス、タバコ、ビニール類、そしてバーベキュー道具一式まで。また波うち際には、ビニールシートが置き去りに。漂着物は漁業関係の物が多く、清掃活動をした海岸では外国製を思わせるものはほとんどありませんでした。

管理された海岸でさえ580Kg以上のゴミが捨てられていることに、愕然としました。

一方、自然観察会では、角島ならではの自然を観察できました。島の動植物全体が資源であるように思われます。残念なことは橋ができ、貴重な植物が踏み荒らされるという現実があることです。

その保護と保全の必要が出てきたことにより、今回の手づくり事業の対象となりました。